

地震後の大雨被害 (平成28年6月19日から25日に発生した被害)

<人的・建物被害の概要>

※8月30日 熊本県災害対策本部会議資料から

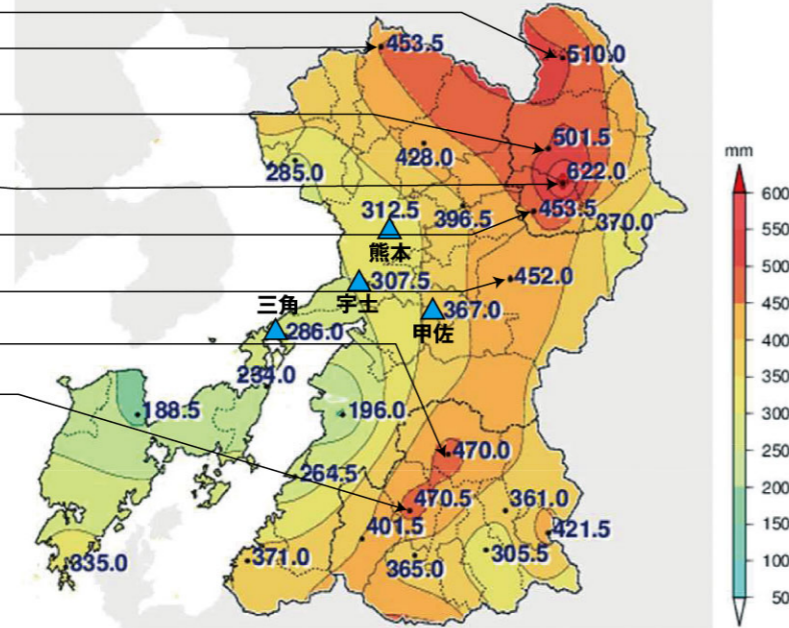
- 人的被害 ・死者：6人(5人)、重傷者：1人、軽傷者：4人
 - 住家被害 ・全壊、半壊、一部損壊 計 117棟(22棟)、床上・床下浸水 1,200棟
- ※()内は、土砂災害による被害

<気象状況>

◇アメダス総降水量の分布図

(平成28年6月18日18時～6月23日09時)

南小国(阿蘇郡南小国町)	510.0mm
鹿北(山鹿市鹿北町)	453.5mm
阿蘇乙姫(阿蘇市乙姫)	501.5mm
阿蘇山(阿蘇郡南阿蘇村)	622.0mm
南阿蘇(阿蘇郡南阿蘇村)	453.5mm
山都(上益城郡山都町)	452.0mm
五木村(球磨郡五木村)	470.0mm
山江村(球磨郡山江村)	470.5mm



出典：「災害時気象資料」H28.6.23 熊本地方気象台速報

◇県内4箇所で観測史上1位の時間雨量を記録

地点	降水量	起時：日時分(まで)	統計開始年
▲ 甲佐(甲佐町)	150mm	6月21日 00時19分	1976年
▲ 宇土(宇土市)	122mm	6月20日 23時27分	2006年
▲ 三角(宇土市)	104mm	6月20日 23時48分	1976年
▲ 熊本(熊本市)	94mm	6月20日 23時04分	1890年

6月19日から25日にかけて、本州付近に梅雨前線が停滞し、その前線上を次々と低気圧が通過した。

特に、6月20日は、東シナ海から接近した梅雨前線上の低気圧が20日夜にかけて九州北部を通過した。このため、前線活動が活発となり、21日朝にかけて大雨となった。

甲佐町では6月21日0時19分までの1時間に150ミリを観測し、全国でも史上4位の大雨となった。

この大雨の影響で、土砂災害、浸水害等が発生し、熊本県で死者6名となるなど、甚大な被害をもたらした。

なお、本災害については、県内5町村(美里町、産山村、御船町、甲佐町、山都町)を対象に、8月15日激甚災害(局激)の指定が閣議決定された。



熊本市北区津浦町 死者2名 (6月22日撮影)



宇土市椿原町 死者1名 (6月21日撮影)



宇土市住吉町 死者1名 (6月22日撮影)



上天草市大矢野町登立字岩谷 死者1名 (6月22日撮影)

大雨による斜面崩壊の発生・拡大

熊本地震により、土石流が発生した山王谷川(南阿蘇村長野)では、19日から大雨により、21日未明に再び土石流が発生し、夜峰山(南阿蘇村)などでも、新たな斜面崩壊や拡大が確認された。

熊本地震後

6月19日以降の大雨後

南阿蘇村長野【山王谷川地区】



(5月14日撮影)



(7月22日撮影)



(5月14日撮影)



(7月22日撮影)

南阿蘇村【夜峰山】



熊本地震後の崩壊

(5月14日撮影:熊本大学)



崩壊拡大

土砂流出

(7月6日撮影:熊本大学)

南阿蘇村立野【立野地区】



熊本地震後の崩壊

(4月22日撮影:熊本大学)



崩壊拡大

(6月26日撮影:熊本大学)

白川中下流域の状況(流木撤去・堆積土砂掘削)

19日から大雨により、阿蘇地域では、新たな山腹崩壊や土石流が発生し、流出した多量の土砂によって下流白川では河床の上昇及び橋梁や堰に大量の流木が堆積するなどしたことから、今後の洪水に備えて、緊急的に撤去作業を実施した。



(6月21日撮影)

白川下流域流木撤去状況(熊本市北区龍田町:吉原橋)



(8月9日撮影)

白川中流域堆積土砂掘削状況(大津町岩坂)